

平成19年度事業状況報告

府域の良好な自然環境の保全及び市街地の緑化を推進し、みどり豊かで快適な環境づくりに寄与するため、次の事業を行った。

・府域に残された良好な自然環境や里山等の保全

1 貴重な自然環境の保全

府域に残された貴重な自然環境の保全と回復を図るため、協会の登録ボランティア「みどりすと」をはじめ、多くの府民、企業社員のボランティアの参加や大阪府立大学等の研究機関の協力を得て次の活動を行った。

- ・ 貴重な自然環境の保全に関する活動 和泉葛城山ブナ林ほか 6カ所
- ・ 貴重な自然林の保全契約 本山寺大阪府自然環境保全地域ほか 5カ所

(1) 和泉葛城山ブナ林保全整備事業

国指定天然記念物である和泉葛城山のブナ林は、日本のブナ分布の南限圏にあり、標高も低いため、環境変化の影響を受けやすく、大阪府が取得した周辺森林（バッファゾーン）との一体的な保全が必要である。

このため、学識経験者等で構成するブナ林保護増殖検討委員会の助言を得ながら、ブナ林が天然林としての生態系を維持できるようバッファゾーンのブナ林の保全・整備に取り組んだ。

また、地元のボランティア団体「ブナ愛樹クラブ」や企業の社員ボランティアなど広く府民の協力を得ながら保全・整備活動を実施した。

(保全面積 56 ha)

- ・ 和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会の開催
- ・ ブナ苗木の養成（岸和田市塔原地区への床替え（2月）及び管理
平成20年4月1日現在 340本が生育
- ・ ブナ造林木の保育（下刈り） 4.14 ha
- ・ ブナ造林木の生長量調査（苗高、幹直径、虫害被害の調査） 3,144本
虫害被害 78本
- ・ 環境測定器の設置（温度、湿度、土壌水分含有量、光量） 6基
- ・ ブナ造林木のDNA調査
- ・ ブナ林管理図面及びブナ林造成技術手引書の作成

- ・地元ボランティアによる周辺森林の整備 19回 参加 234 名
- ・企業ボランティアによる下刈り(10月13日(土)) 1回 参加 100 名
- ・巡視管理等 巡視員 4名 延べ 96 日
- ・ブナ林自然観察ハイキング(10月21日(日)) 1回 参加 66 名

(2) 三草山ゼフィルスの森保全整備事業

能勢町三草山は、日本に生息するミドリシジミ蝶(ゼフィルス)25種のうち10種が生息し、なかでも、ヒロオビミドリシジミは日本の分布の東限になっていることから、当協会が生息主要区域に地上権を設定し、ヒロオビミドリシジミの幼虫の餌であるナラガシワ林の保全のための事業を実施した。

また、萌芽更新の試行によるナラガシワ林の維持管理に加えて、休耕田を活用してドングリからナラガシワの苗木づくりを実施した。

大阪府との協議の結果、三草山大阪府緑地環境保全地域保全計画が変更され(平成20年2月)、「三草山ゼフィルスの森」内での全ての動物種が捕獲禁止となった。

(保全面積 14 ha)

- ・防火帯の刈り払い、蝶類の生息環境に合わせた林床の整理 9 ha
- ・萌芽更新によるナラガシワ林の試験的更新 0.10 ha
- ・不法採取等の巡視 地元ボランティアにより実施
- ・ナラガシワのドングリ播種 約 3,000 粒
- ・蝶類の調査 大阪府立大学等の研究と連携
(里山管理と蝶類群集の多様性との関連性)
- ・ボランティアによる自然生え苗の保育、笹の刈り払い、除伐整理 5回 参加 115 名
- ・ゼフィルス観察会の開催(6月17日(日)) 1回 参加 47 名
- ・ナラガシワドングリ採集ハイキング(10月28日(日)) 1回 参加 32 名

(3) 自然環境保全地域等の保全事業

すぐれた自然環境として大阪府が指定した自然環境保全地域と緑地環境保全地域、及びこれに準ずる地域の保全を行った。

(ア) 社寺の貴重な自然林(大阪府自然環境保全地域)の保全契約

社寺に残るすぐれた自然林を地域の極相林として維持するため、5カ所の大阪府自然環境保全地域について、管理者との保全契約に基づき支援した。

(保全面積 38 ha)

- ・本山寺自然環境保全地域 (高槻市 14 ha)
- ・意賀美神社自然環境保全地域 (岸和田市 1 ha)
- ・美具久留御魂神社自然環境保全地域 (富田林市 2 ha)
- ・若山神社自然環境保全地域 (島本町 11 ha)
- ・妙見山自然環境保全地域 (能勢町 10 ha)

(イ) 能勢町地黄湿地の保全

トキソウ、サギソウ、モウセンゴケ等の湿地植物やハッチョウトンボやモリアオガエル等の貴重な野生動植物が生息する能勢町地黄の湧水湿地を保全するため、地元やボランティアの協力を得て、集水域森林の保全作業を行った。

植生調査を実施するとともに、湿地の地下水位測定器の設置を行った。また、湿地環境の維持管理として、陸地化を促進するススキなどの抜きとりや周辺森林の伐採などの作業を行った。特定外来生物に指定されているウシガエルの駆除に取り組んだ。

(保全面積 18 ha)

- ・植生調査の実施、地下水位測定器の設置
- ・特定外来生物ウシガエルの駆除
- ・湿地周辺森林の伐採整理
- ・ボランティアによる侵入した樹木やススキの掘り取り 2回 参加 27名

(ウ) 和泉市信太山惣ヶ池湿地の保全

市街地間近に多様な生態系を保っている和泉市信太山惣ヶ池の湿地において、保全管理マニュアルに基づき、市民ボランティアの参加により、ササ刈りや湿地植物の種多様性を高めるための耕起などの保全作業を実施した。

(保全面積 3 ha)

- ・乾燥化につながるネザサの刈り払い、帰化植物の除去、湿地植物の多様性を高める耕起作業、水路の整備等 5回 参加 61名
- ・カスミサンショウウオ産卵調査(3月9日(日)) 1回 参加 22名

(エ) 八尾水辺エコアップ活動

希少な淡水魚ニッポンバラタナゴの大阪府内での絶滅を回避するため、野池の環境を整備し、バラタナゴの産卵宿主となるドブガイ及びニッポンバラタナゴの生育調査を行った。

ニッポンバラタナゴは順調に増殖しており、ドブガイの繁殖も確認できた。

(保全池面積 0.1 ha)

- ・ヘドロ除去、ドブガイの生育環境の改善のための土砂補給、水路の維持管理、ため池周囲の草刈り 14 回 参加 63 名
- ・ドビ流し⁽¹⁾による池の浄化作業と生きもの調査、水質調査の実施
 - 1 池の水を堆積有機物と一緒に流すため底樋を抜く作業
 - ドブガイ、ニッポンバラタナゴの調査
 - (ニッポンバラタナゴ 1,088 尾を確認 前年は 605 尾)

(オ) 大和葛城山カタクリ群生地の保全

府内で唯一のカタクリ群生地において、周辺からの藪の侵入を防止するためのササ刈り等の環境整備を実施した。自主活動グループ「大和葛城山の自然を大切にする会」が主体となって、ギフチョウの卵調査や奈良県側での保全作業なども行った。

(保全面積 3 ha)

- ・侵入するササ類の除去、無立木地の草刈り、林内整理、ボランティアによる調査(カタクリの分布、ギフチョウ産卵調査)等

33 回 参加 263 名

2 里山の保全活動

多様な生きものが生育できる健全な森づくりを目的に、手入れされなくなった雑木林や人工林を再生するため、(社)国土緑化推進機構や(財)三菱UFJ環境財団から助成を受けて、ボランティアの参加による間伐、下刈り、つる切り等の森林保育作業を8カ所で行った。

また、里山保全活動を地域に根づいた持続性のある活動とするため、ボランティアによる自主的な活動が進むよう、各活動地でのグループづくりを進めた。

- ・地元市町村、自治会等が参加する協議会等で計画を立案又は協議して実施しているもの(3カ所)

茨木市 車作の森

和泉市 和泉の国の森づくり

泉佐野市 いずみの森

- ・自主活動グループが組織化されている活動地(5カ所)

島本町 大沢の森

島本森のクラブ

茨木市 車作の森

車作里山倶楽部

能勢町 歌垣の森

能勢のギフチョウを守る会

泉佐野市 いずみの森

いずみの森ボランティアの会

箕面市 外院の森

外院の杜クラブ

(貝塚市蕎原の森 グループづくりを呼びかけ中)

・各活動地のテーマ及び実施状況は以下の通り

- 能勢町歌垣の森 (放置された栗林の再生とギフチョウの保護 : 2 ha)
6 回 参加 93 名
- 箕面市外院の森 (都市近郊の放置林の整備・再生 : 3 ha)
18 回 参加 139 名
- 茨木市車作の森 (多様な動植物を育む里山の再生 : 40ha)
22 回 参加 740 名
- 島本町大沢の森、水無瀬水源の森等 (山村と都市の交流 : 1 8 ha)
44 回 参加 487 名
- 貝塚市蕎原の森 (台風被害森林の復旧 : 11ha)
(財) U F J 環境財団から里山保全活動に対する助成を受けて実施
5 回 参加 201 名
- 泉佐野市いずみの森 (ボランティアによる森づくり西日本拠点 : 31ha)
(社) 国土緑化推進機構から活動助成を受けて実施
19 回 参加 655 名
- 泉南市堀河の森 (企業ボランティアによる森づくり : 11ha)
7 回 参加 322 名
- 和泉の国の森づくり (地域と都市住民の協働による森づくり : 7 ha)
13 回 参加 234 名

3 学校環境緑化等の推進

子どもたちが生きものに触れ、実践的な活動ができる環境教育の場を創出するために、「ローソン緑の募金」からの寄附金を活用した学校環境緑化モデル事業や学校林整備・活用推進事業を実施した。

- ・学校環境緑化モデル事業 (1 カ所)
豊中市立第 1 5 中学校 (ビオトープづくり)
- ・学校林整備・活用推進事業 (1 カ所)
岬町立淡輪小学校 (学校林の整備)

. ボランティア活動の育成

自然保護や森林保全、自然素材を使った工作などの基礎的な技術と知識を習得できる講座を開設し、ボランティアの育成を図り、緑化行事等でのクラフト指導者の派遣等を行った。また、大阪府緑の少年団連盟の活動に対する助成を行った。

1 ボランティア研修会の開催等

当協会活動地を活用し、それぞれの活動地で必要な技能や知識を身につけるための「自然保護ボランティア養成講座」を開催し、ボランティアの発掘とその育成を行った。また、登録ボランティアのための「みどりすと講座」を開催した。

(1) 自然保護ボランティア養成講座の開催

大学等の専門家の指導による講義や自然観察を組み入れ、希少な動植物がおかれている現状と生息地保護のための知識と実践技術の習得を図り、修了後の保全活動への参画を促進した。

- ・平成19年4月開講、年8回実施
- ・受講者 のべ 166 名（通年）

(2) みどりすと講座

会員や「みどりすと」の技量向上とボランティアリーダー養成のため、木工クラフトや伐採した樹木が活用できる石窯講習会などを実施した。

- ・3回実施 受講者 のべ 47 名

2 みどりのボランティアの派遣

良好な自然環境や里山の保全及び緑化の推進を図るため、ボランティア経験者として継続的に活動するボランティア「みどりすと」を育成した。

また、緑化行事や保全活動において、木工クラフトの指導、活動地での作業に派遣した。

ボランティア活動に必要な用具、資材を整備すると共に、活動時の事故対策として、傷害賠償保険に加入した。

- ・みどりすと活動 199 件 3,278 人
- ・クラフト指導者の派遣（9市町村へ） 15 件 派遣数 85 人

3 青少年緑化活動推進事業

緑とのふれあい活動を通じて、緑を守り育てる心豊かな人間性をもつ青少年として育てるために、大阪府緑の少年団連盟の交流集会や自然の中での体験学習等を行った。

・普及啓発事業

自然環境の保全と緑化の推進についての認識を深め、トラスト運動への積極的な参加を促進するため、大阪府の「木になる夢銀行事業」の銀行業務を受託すると共に、当協会事業地を活用した自然観察会などの普及啓発事業を行った。

1 木になる夢銀行事業

子供たちがドングリ拾いという遊びを通じて、緑化や自然環境に関心をもつよう、大阪府から「木になる夢銀行」事業の一部を受託し、地域の緑化の促進と緑に関する普及啓発を行った。

当協会は、銀行業務と普及啓発活動について、大阪府から受託して事業を実施すると共に、府の実施したドングリ学習会等を支援した。

仕組み

- ・総合調整 ……大阪府みどり・都市環境室
- ・銀行業務 ……（財）大阪みどりのトラスト協会
（データ集計、通帳発行、広報等普及啓発）
- ・預入窓口 ……大阪府みどり・都市環境室、各農と緑の総合事務所、協力市町村、（財）大阪みどりのトラスト協会
- ・苗木の養成 ……大阪府環境農林水産総合研究所、大阪府みどり公社

事業実績

- ・チラシ、通帳、普及啓発用パンフレット等資材の製作及び配布
- ・当協会のホームページで、「ドングリリン通信」を年3回発行
- ・銀行の活動実績

銀行窓口数：53 カ所

通帳発行数：2,551 冊（累計発行数 25,217 冊）

預け入れ数：約 178 万個

払戻苗木数：1,052 本

2 普及啓発のためのイベントの開催

自然観察会などの実施により自然に触れ、楽しみ、学ぶ体験を通じて自然環境の大切さを啓発した。併せて、当協会事業の理解及び森林保全活動への市民の参加と支援を求めた。（再掲）

| | | | |
|-------------------|-------|-----------|------|
| ・歌垣の森ギフチョウ観察会 | 平成19年 | 4月7日(土) | 19名 |
| ・大和葛城山カタクリ観察会 | 平成19年 | 4月22日(日) | 44名 |
| ・歌垣の森ギフチョウ卵調査 | 平成19年 | 4月29日(日) | 16名 |
| ・三草山ゼフィルス観察会 | 平成19年 | 6月17日(日) | 47名 |
| ・車作の森キツネノカミソリ観察会 | 平成19年 | 8月11日(土) | 120名 |
| ・ブナ林自然観察ハイキング | 平成19年 | 10月21日(日) | 66名 |
| ・ナラガシワドングリ採集ハイキング | 平成19年 | 10月28日(日) | 32名 |
| ・いずみの森自然体験 | 平成19年 | 11月24日(土) | 170名 |
| ・カスミサンショウウオ産卵調査 | 平成20年 | 3月9日(日) | 22名 |

その他、緑の募金運動を通じて緑化啓発や自然環境・里山の保全等について啓発活動を行った。

3 情報誌等の発行

会員をはじめ行政機関、府民に協会の活動状況や自然に関する情報を提供するため、会報「みどりのトラスト」を年4回（6，9，12，3月）発行した。

会報第56号～59号 計 48,000 部 （12,000 部/回）

また、ホームページの改訂を行い、効果的な情報提供やCSR活動支援に対する取り組み情報の充実を図った。

4 会員の募集

当協会の保全活動や緑化関係各種イベント、会報・パンフレットの配付等を通じて会員の拡大を図った。

・新規会員登録者数 個人 96 人、法人 5 団体
（平成19年度会員数 個人 1,009 人、法人 48 団体）

5 専門委員会の開催

協会の事業実施に当たり、専門的知識を要する事項について助言を得るため次の専門委員会を開催した。

- ・普及啓発委員会 4回
会報「みどりのトラスト」の編集および緑の募金、その他広報及び普及啓発活動について協議、検討

・緑の募金運動

「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき「緑の募金」運動を積極的に展開し、市街地の緑化の推進、森林の整備、緑づくりの活動支援等に努めた。

「緑の募金」運動を進めるにあたっては、幅広い参加による府民運動とするため、青少年団体、経済団体、企業、市民団体等の協力を得て実施した。

1 募金活動

(1) 募金資材の整備

募金運動を実施するため、緑の羽根、募金箱、PRポスターなどの資材を作成し、募金実施団体に配付した。

今年度は募金運動を活性化するため、携帯クリーナーや街頭募金用の看板の配布を新たに試みた。

- ・緑の羽根 580,000本
- ・募金バッジ等 春季：ホオノキピンバッジ 13,000個
携帯クリーナー 12,000個
秋季：ナラガシワピンバッジ 5,000個
- ・街頭募金用看板 500枚
- ・募金箱、タスキ、ポスター等

(2) 募金活動の推進

(ア) 集中取り組み期間

平成19年3月1日から 5月31日まで（春季）

平成19年9月1日から 10月31日まで（秋季）

(イ) 募金の実施

- ・街頭募金、学校募金、職場募金、家庭募金、企業募金等により行った。
- ・ボーイスカウト、ガールスカウト、緑の少年団などの青少年団体や地域婦人団体などによる街頭募金協力をはじめとし、企業や店舗の他、公共施設等に募金箱を設置して募金活動を実施した。

(ウ) 募金運動のPR

- ・各報道機関に緑の募金運動の周知・協力を要請し、4月にはNHKニュース番組においてアナウンサーに緑の羽根着用の協力を得た。
- ・大阪府広報、市町村広報でのPR、協力企業の店舗などでポスター掲示を行うとともに、街頭募金運動キャンペーンを実施した。

< 街頭募金運動キャンペーン >

各団体の協力を得てトラスト協会主催の街頭募金キャンペーンを次のとおり実施した。

| 区分 | 実施日 | 場 所 | 協 力 団 体 |
|----|-------|---------------|----------------------------------|
| 春季 | 4/15 | 阪急「梅田駅」構内サン広場 | ガールスカウト大阪第48団、65団 緑の少年団「いちよう」 |
| | 4/25 | 近鉄「阿部野橋駅」構内 | 大阪市地域女性団体協議会 |
| | 5/23 | 戎橋サミー前 | ミナミ活性化委員会 |
| 秋季 | 10/27 | 第6回魚庭の海づくり大会 | 緑の少年団「いちよう」 |

その他、大阪府植樹祭、市町村緑化行事等において募金を呼びかけた。

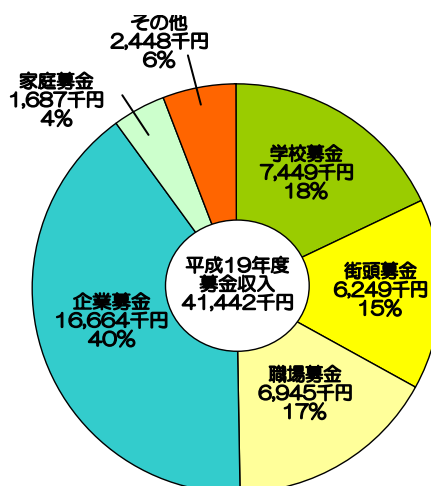
(3) 募金実績

(ア) 平成19年度の募金総額は 41,442,826円(2,195件)で、平成18年度に比べ、12,777,516円、199件増の実績となった。

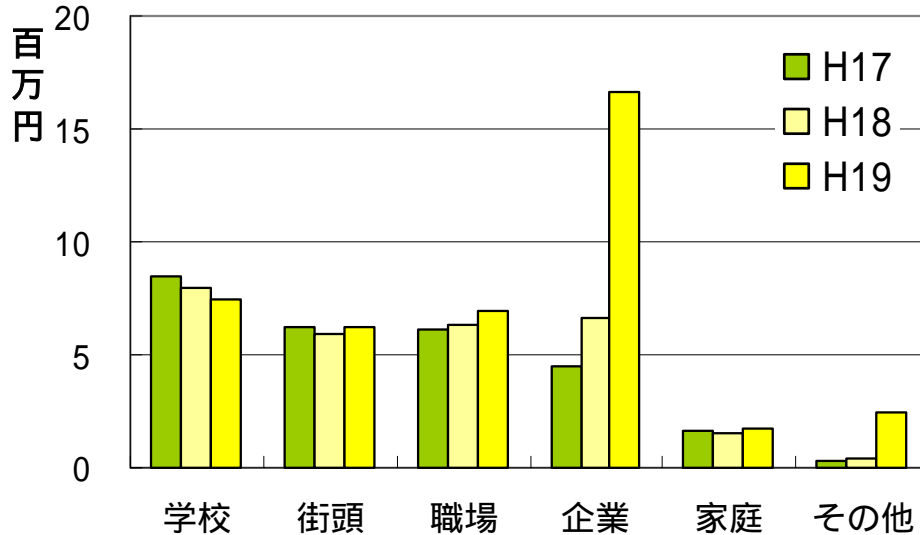
(イ) 種類別募金額の実績は次のグラフのとおりで、職場募金、企業募金が前年度に比べ増加している。

企業募金増加の要因は、木材関係企業から800万円、金融機関から285万円の大口寄附と緑の募金に寄附を行う仕組みの自動販売機の設置台数の増加があげられる。また、個人の方から200万円の大口寄附があった。

【平成19年度 種類別募金額】



【過去3年間の種類別募金額の推移】



2 緑の募金事業の実施

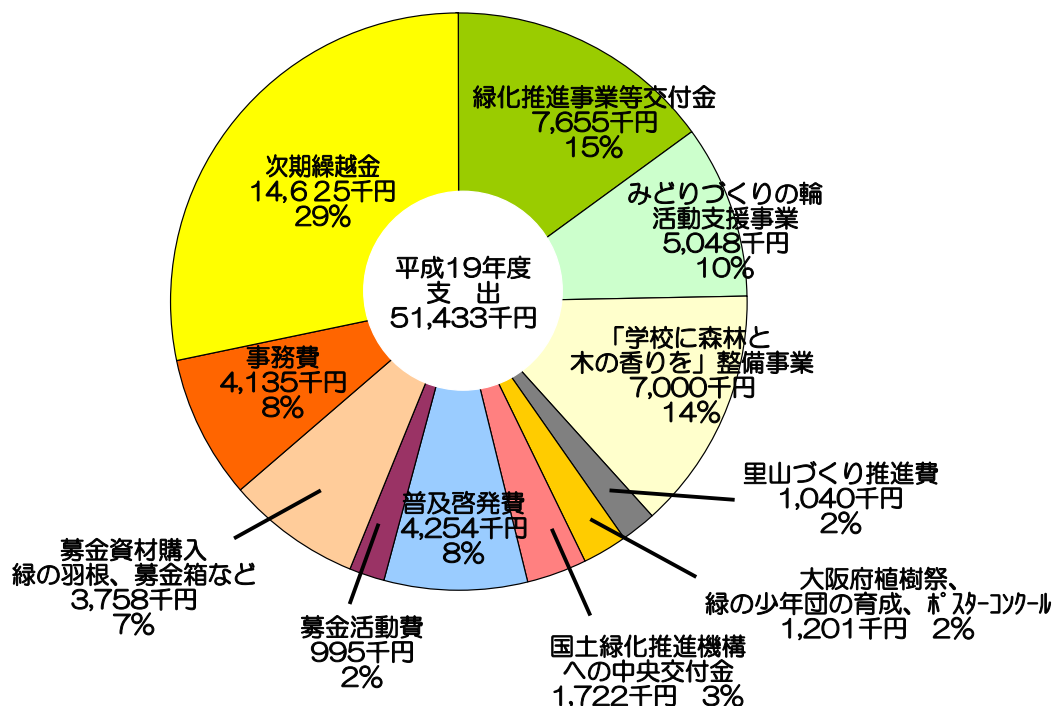
(1) 緑の募金事業支出

平成19年度は次のグラフのとおり事業を実施した。

教育施設において快適な学習環境を提供するための新たな助成事業を創設するとともに、平成18年度からの繰越金の一部を、みどりづくりの輪活動支援事業に充当し、事業の拡充を図った。

なお、補正予算後に多額の寄附があり、次期繰越金は14,624,743円となった。

【平成19年度緑の募金事業別支出割合】



(2) みどりづくりの輪の拡大と森林の整備

(ア) みどりづくりの輪活動支援事業

市街地の緑化を推進するとともに、森林整備の促進を図るため、NPOやボランティアグループ、市町村緑化団体等が行う緑化活動等に助成を行った。

| 助成内容 | 平成19年度 5,034千円 | 平成18年度 3,703千円 |
|------------|-------------------|-------------------|
| 森林、里山の整備 | 5カ所 | 9カ所 |
| 学校ビオトープづくり | 9カ所 | 8カ所 |
| 市街地緑化 | 4カ所 | 3カ所 |
| 合計 | 18カ所 | 20カ所 |

(イ) 「学校に森林と木の香りを」整備事業

教育施設において、森林の整備、木材の利用、緑の効用について理解を深めるとともに、木の香る快適な学習環境を提供するため新たな事業を創設し、助成を行った。

- ・大阪市立咲くやこの花中学校・高等学校 「屋上ウッドデッキの整備」

(ウ) 里山づくりの推進

里山の多様な生きものの生育環境の確保や良好な里山景観をよみがえらせるため、人工林や雑木林の手入れや植樹など、森林の多様な役割を発揮できるよう、ボランティアの参加による保全活動を行った。

- ・歌垣の森（能勢町）、島本の森（島本町）、車作の森（茨木市）
堀河の森（泉南市）等

また、地球温暖化防止にかかる運動の一環として、堺第7-3区において、行政・府民・NPO・企業等が協働で取り組む「共生の森」づくり活動に参画し、植樹を行った。

(エ) 緑の少年団の育成

大阪府内の緑の少年団の育成とその活動の充実を図るため、大阪府緑の少年団連盟の行う事業に助成した。

- ・緑の少年団 10団体 285名（平成20年3月31日現在）

- ・大阪府緑の少年団連盟の実施事業

緑の少年団全国大会への参加 日時：平成19年8月1日（水）～8月3日（金）
場所：静岡県三島市

大阪府緑の少年団交流集会 日時：平成19年8月18日（土）
場所：金剛山ちはや園地（千早赤阪村）

(3) 緑化の活動と普及啓発

(ア) 募金団体による地域緑化の推進

地域や学校等の緑化を推進するため、募金額の一部を緑化推進事業等交付金として募金団体に交付し、植樹、花壇の整備、樹木の手入れ等の緑化活動を行った。

- ・ 交付団体数 872件 (平成18年度 910件)
- ・ 交付金額 7,477,063円 (平成18年度 7,765,066円)

(イ) 第55回大阪府植樹祭の開催

と き：平成19年4月28日(土)

と ころ：茨木市 彩都あさぎ里山公園

主 催：大阪府、茨木市、(財)大阪みどりのトラスト協会

行事内容：緑化功労者及び国土緑化ポスターコンクール入選者の表彰、植樹、展示、クラフト等

< 緑化功労者表彰 >

緑化に功労のある団体を大阪みどりのトラスト協会緑化功労者として表彰した。

枚方市立山之上小学校

日本ボーイスカウト吹田第19団

日本ボーイスカウト堺第27団

社団法人ガールスカウト日本連盟大阪府第69団

< 国土緑化ポスターコンクール入選者表彰 >

19年用国土緑化運動ポスターコンクールの入選者を表彰した。

(ウ) 国土緑化運動ポスターコンクールの実施

児童、生徒の自然や緑への関心を高めるために、府内小・中・高等学校の協力を得て20年用ポスターコンクールを行い、優秀作品を国土緑化推進機構が行う全国コンクールに応募した。

入賞者については、第56回大阪府植樹祭(平成20年4月開催)において表彰するとともに作品を展示。

- ・ 応募者数 253名 (参加者数 1,103名)
うち入賞(トラスト協会賞)22点(詳細は別添資料(会報59号))
- ・ 国土緑化推進機構理事長賞 入選1名

(エ) 中央交付金

募金中央団体である(社)国土緑化推進機構が行う全国規模での緑化事業に要する経費を交付した。

- ・中央交付金 1,722,000円

(オ) 普及啓発活動の拡充

- ・近畿2府4県が共同で(社)農林放送事業団に委託し、MBSテレビで4月に3回のテレビスポットCMを実施した。
- ・「地球温暖化防止キャンペーン」として、「緑のカーテン」普及活動のため、つる植物の種子を15,000袋配布した。
- ・懸垂幕をみどりの月間(4/15~5/14)と、山に親しむ推進月間(11月)に大阪府庁舎で掲出した。
- ・ISO14001取得企業(2,000社)に緑の募金への協力を呼びかけた。
- ・そのほか、チラシ、間伐材を利用したキーホルダーの作成や、大阪商工会議所機関誌に緑の募金の呼びかけを行う記事を掲載した。

3 緑化推進運営協議会の開催

緑の募金運動を展開するため、次のとおり緑化推進運営協議会を開催し、事業計画、収支予算等を審議した。

- ・平成19年6月13日(水) 平成18年度事業状況報告、収支決算
- ・平成20年2月8日(金) 平成19年度収支補正予算
平成20年度事業計画、収支予算

基本財産及びトラスト基金の造成

基本財産は226,057,779円(平成20年3月末現在)となっており、希少な動植物の保護などの自主運営能力を高めるために増額に努力した。

また、和泉葛城山ブナ林とこれを取り巻く森林を一体的に保全するための「ブナの森トラスト基金」及び能勢町三草山に生息するミドリシジミ類の蝶類の保護のための「ゼフィルスの森トラスト基金」の造成に努めた。

ブナの森トラスト基金

- ・基金寄附件数及び寄附金額 101件 1,546,124円
(平成20年3月末現在 累計 3,388件 78,644,590円)

ゼフィルスの森トラスト基金

| | | |
|----------------|---------|---------------|
| ・基金寄附件数及び寄附金額 | 49 件 | 297,440 円 |
| (平成20年3月末現在 累計 | 1,764 件 | 45,460,308 円) |